

課税証明書(神戸市など政令指定都市以外)の所得割額の確認方法 (通知書等が手元にない方)

(様式例)※様式は、市町によって異なります

市民税・県民税課税額証明書

令和○年度	納税義務者	住所	○○市○○町3-3	
		氏名	兵庫 太郎	

令和○年1月1日から 令和○年12月31日までの所得等の状況です。

賦課期日(1月1日)住所		○○市○○町3-3		控除対象配偶者及び扶養親族数		1人
所得内訳		所得控除内訳		扶養関係事項		
種類	金額(円)	種類	金額(円)	控除対象配偶者(有・無)	有	
給与所得(給与収入金額)	¥*****	社会保険料控除	¥*****	一般扶養数	0人	
年金にかかる雑所得(公的年金等収入)	¥0	生命保険料控除	¥*****	特定扶養数(同居老人)	0人(0)	
以下余白		**以下余白**		老人扶養数	0人	
課税標準額内訳		市民税		調整控除(市)		
種類	金額(円)	所得割	¥66,000	調整控除(県)		
課税総所得金額	¥*****	均等割	¥3,500	寄附金税額控除(市)		
以下余白		県民税	¥44,000	寄附金税額控除(県)		
		均等割	¥2,300	備考)		
		年税額	¥*****	16歳未満 2人		
				調整控除(市) ¥3,000		
				調整控除(県) ¥2,000		
				寄附金税額控除(市) ¥27,000		
				寄附金税額控除(県) ¥18,000		

「調整控除」や県民税の控除額、定額減税控除額は税額控除額に含めません

「市(町)民税」の「所得割額※」欄(★印)の金額が
A:1円以上(円) B:0円
※「税額控除前所得割額」と「(控除後)所得割額」の両方が記載されている場合は、「(控除後)所得割額」

A: →
B: →

確認スタート ⇒

4~8月利用分は令和6年度、
9~3月利用分は令和7年度の住民税で
確認してください

「市(町)民税」の「均等割額」の欄の金額が
A:1円以上 B:0円

非課税です

住宅借入金等特別控除(住宅ローン控除)
寄附金税額控除(ふるさと納税の寄附控除)
などの税額控除を
A:受けていない B:受けている
(税額控除額0円)

控除額の内訳欄 または 備考欄(例:☆印)に控除額の内訳が
A:記載されている →市(町)の金額(円☆)
B:記載されていない
※「調整控除」の額、県民税の控除額、定額減税控除額は☆に含めない

市(町)民税所得割額★ + 税額控除額☆
=(円)

証明書を発行した市町の税担当職員に控除額を聞き取って、申立書に記載してください。
(金額:円☆)
※「調整控除」の額は☆に含めない

「申立書」の様式は[こちら](#)

配偶者控除◆の欄に
A:「有」の印がある
B:空欄(配偶者特別控除は「B」へ)

「市(町)民税所得割額が分かる書類」は
1人分でOKです(配偶者の所得割額は0円)

配偶者の「市(町)民税所得割額がわかる書類」
を用意し、同様に所得割額を算出してください